



まつりを楽しむ市民の 笑顔があふれた2日間

第16回のぼりべつ豊水まつり2012

7/
14・15

7月14日(土)・15日(日)、幌別北駅前通りとらいば公園、中央町2丁目買物駐車場で『第16回のぼりべつ豊水まつり2012』(同実行委員会主催)が開かれました。

この催しは、登別の豊かな自然と水に感謝するまつりとして、毎年開催されています。

初日は、幼稚園児のかわいらしい遊戯で開幕。ジャンケン大会などのゲームのほか、太鼓の共演が行われ、まつりを盛り上げました。

夜には、市民団体や地元企業などから約300人の踊り手が参加した大群舞『豊水トントン』が行われ、個性ある掛け声と華麗な舞いに、沿道の市民から大きな拍手と歓声が送られていました。

2日目は、約30人の子どもによる『ちびっこ浴衣ショー』やバンド演奏、カラオケ大会などが行われ、会場は、夏のまつりを楽しむ大勢の市民でにぎわいました。



▲小笠原市長に今シーズンの活動を報告する宮武さん(右)

ソチ五輪を目指して 心技ともに成長

宮武祥子選手シーズン終了報告

7月3日(火)、登別市出身でスノーボードアルペン競技日本代表の宮武祥子さんが市役所を訪れ、昨シーズンの活動報告をしました。

2014年のソチ冬季オリンピック出場を目指す宮武さんは「海外遠征などいろいろな経験をして、技術・メンタルともに成長することができました」と昨シーズンを評価。その成長を示すように、4月の全日本選手権では準優勝という結果を残しています。

また、『宮武祥子後援会』の後援活動にも感謝を述べ「自分一人だけではないという思いが、集中力につながります」と話しました。(宮武さんホームページ：<http://www.takesho.org>)

7/
3